

◆山形県環境教育行動計画に基づく施策の実施状況について [平成26年度事業内容]

【1】学校、地域、社会等幅広い場における環境教育

①学校における環境教育

No.	事業名	事業内容	担当課
1	私立学校一般補助金のうち高等学校特色分加算（環境教育の推進）	・私立高等学校の運営費に対して助成を行う私立学校一般補助金において、各校の特色ある取組みを評価して助成する「特色分加算」により、環境教育に積極的に取り組む私立高等学校を支援した。	学事文書課
2	環境教育推進事業 環境エネルギー学習機能拡充推進事業	・学校、住民団体等で開催する学習会へ、環境アドバイザーを29回、地球温暖化防止活動推進員を16回、再生可能エネルギー地域コーディネーターを22回派遣した。 ・また、環境科学研究センター職員が講師となる環境教室を51回行ったほか、学校教員など教育関係者に向け環境教育教材活用研修会を開催した。	環境企画課 環境科学研究センター 各総合支庁環境課
3	環境教育推進事業	・再生可能エネルギーに関する学習教材（読本、DVD）について、環境科学研究センター見学者ややまがた環境展・各種研修会参加者に配付するとともに、エネルギーをテーマとする出前講座において活用した。	環境企画課 環境科学研究センター
4	環境教育推進事業	・環境の保全等に積極的に取り組む団体・個人を顕彰する「環境やまがた大賞」を実施し、26年度は2団体を顕彰した。	環境企画課
5	地球にやさしい・3R推進人づくり事業	・高校生から3Rの大切さを発信する場を提供。やまがた環境展協賛事業として、「高校生環境ものづくり発表会」を開催し、県内8校（ステージ発表は6校）が参加した。	循環型社会推進課
6	自然環境学習推進事業	・教職員やPTA等を対象に学校林の安全な学習環境の整備と森林環境学習を内容とする研修を実施するとともに、森林環境学習副教材「やまがたの森林」及びガイドブックを作成・提供した。	みどり自然課
7	きれいな川で住みよいふるさと運動 【市町村総合交付金対象事業】	・河川海岸愛護の啓発と美化清掃活動を行う「きれいな川で住みよいふるさと運動」に、平成26年度は約16万人の県民が参加し、県内612の河川、25の海岸において清掃活動が実施され、約260トンのごみが回収された。 ・また、山形県治水協会からの助成を受け、小学生への運動PR・啓発活動として河川学習用品の提供を行った。（県内8校）	河川課
8		・「かわとぴあ2014in山形」においてパネル展示を行うなど、最上川をはじめとする県内の河川を理解し、親しむ取組みを行った。	河川課
9	山形県環境教育指針の改訂・普及	・改訂された山形県環境教育指針の周知を図るとともに、本指針に基づき各学校において全体計画・学習指導計画が策定されるよう支援した。 教育センターのWebページに環境教育指針の目指すものや実践例を掲載した。	高校教育課 義務教育課 教育センター

◆山形県環境教育行動計画に基づく施策の実施状況について [平成26年度事業内容]

10	山形県環境教育指針の改訂・普及	・新エネルギーに関する実験実習装置や燃料電池等を利用した実験装置など、新エネルギーに係る実験・実習設備等の整備を行った。	高校教育課
11	山形県環境教育指針の改訂・普及	・小学校高学年における理科や総合的な学習の時間に実施できる再生可能エネルギーに関する学習プログラムの開発を行い、山形県環境教育指針とともに教育センターのWebページに公開した。	教育センター
12	専門研修	・「これからの環境教育のための指導者養成講座」として、児童生徒の持続可能な社会を目指そうとする態度や資質・能力を育成するための環境教育が実践されるよう、活動や体験を通じた環境教育プログラム作成の手法及び児童生徒の活動を引き出すための手法についての研修講座を実施した。	教育センター

【1】学校、地域、社会等幅広い場における環境教育

②学校教職員の資質向上

No.	事業名	事業内容	担当課
13	環境教育推進事業	・学校教員など教育関係者に向け、センター職員が講師となり環境教室や環境教育教材活用研修会を6回開催した。 ・また、全市町村教育委員会及び小中学校62校を訪問し、環境科学研究センター学習機能や制度を紹介、環境科学研究センターの周知を図り、活用を促した。	環境科学研究センター
14	専門研修	・山形大学大学院教育実践研究科や環境関係NPOの協力を得、「これからの環境教育のための指導者養成講座」を行った。 ・先生応援サポートプラザ（土曜開催講座）や出前サポート、イブニング専門研修を実施した。	教育センター

③社会等幅広い場における環境教育の推進

No.	事業名	事業内容	担当課
15	地球温暖化対策推進体制整備事業 省エネルギー対策推進事業	・「笑顔で省エネ県民運動」の展開に合わせて、関係団体や地球温暖化防止活動推進員と連携し、家庭、事業所及び自動車のアクション事業への県民の参加を促進し、省エネ、節電、エコドライブ等の取り組みを通して地球温暖化防止の低炭素社会の構築の意識を醸成した。	環境企画課
16	水資源保全推進事業	・条例による水資源保全地域の指定拡大に合わせて、趣旨や事前届出制度について地元住民等を対象とする説明会を行った。 ・水資源の保全や森林等が有する水源涵養機能の維持について、チラシ配布や情報誌・市町村広報等への掲載により周知を図った。	環境企画課
—	【No.4再掲】 環境教育推進事業	・環境の保全等に積極的に取り組む団体・個人を顕彰する「環境やまがた大賞」を実施し、26年度は2団体を顕彰した。	環境企画課

◆山形県環境教育行動計画に基づく施策の実施状況について〔平成26年度事業内容〕

17	環境教育推進事業	・水生生物調査（河川において水生生物の生息状況を観察することにより行う水質調査）の実施支援を行い、53団体1,538名に参加いただいたほか、その調査結果をまとめた「山形県の河川水質マップ」を作成配付した。	環境科学研究センター
18		・県内の小中学校等に酸性雨一斉調査の参加を呼びかけ、11月に68地点において酸性雨の調査を行うとともに、交流会を開催した。	環境科学研究センター 水大気環境課
19	環境教育推進事業 環境エネルギー学習機能拡充推進事業	・環境科学研究センターで開催した環境地域づくり担い手連携推進セミナーの内容に県営太陽光発電所の視察見学を盛り込み、企業局担当者から参加者への説明を実施した。	環境科学研究センター
20		・県営太陽光発電所の建設に伴い設置した普及啓発パネルを環境学習の活用を提供した。	企業局公営事業課
21	循環型社会形成推進事業費 地球にやさしい・3R推進人づくり事業	・ごみゼロやまがた県民大会として3R推進講演会やおもちゃの交換会かえっこバザールを実施し、3Rの情報発信を行った。 ・将来の3R推進の中心となる小中学生を対象に物の大切さやごみ減量化への理解を深めるため、大学生の柔軟な発想を取り入れたワークショップを開催し、効果的な若い世代の3R推進意識の醸成を図った。 ・また、一般家庭から出るごみの排出抑制を図るため、「環境にやさしい料理レシピコンテストを開催し、やまがた環境展において優秀レシピの表彰、優勝レシピの料理のふるまい、人気レシピ集の配付を行った。 ・10月25日、26日に山形ビッグウイングで「やまがた環境展2014」を開催し、企業・団体による環境保全分野に関するブースを設け、広く製品・技術・取組みについてPRするとともに、ワークショップなど体験的企画を重視した内容の事業を行った。来場者数 18,191人	循環型社会推進課
—	【No.5再掲】 地球にやさしい・3R推進人づくり事業	・高校生から3Rの大切さを発信する場の提供 やまがた環境展協賛事業として、「高校生環境ものづくり発表会」を開催し、県内8校（ステージ発表は6校）が参加した。	循環型社会推進課
22	豊かな海と美しい川づくりふれあい事業費	・飛島を舞台とした体験型環境教育事業（23回、534人参加）を実施した。 ・河川ごみの発生抑制のため、小水路に簡易柵を設置(36箇所)したほか、陸域部におけるごみ削減の普及啓発としてスポーツごみ拾い(35回、1,271人参加)を実施した。 ・海岸漂着物削減に向けた取組み方法を検討するため、河川ごみのモニタリング調査等を実施した。 ・イベント、釣り場における普及啓発事業を実施した。	循環型社会推進課
23	県民みんなで支える森・みどり環境公募事業 森づくりサポート体制推進事業	・ボランティア団体等が主体的に取り組む森林・環境学習や自然環境保全活動、森づくり活動・森林資源利活用を支援した。(26年度公募事業 111事業) ・また、やまがた公益の森づくり支援センターと連携し、森づくり活動に関する情報収集や提供、森づくりボランティアへの支援を行うなど、森づくり活動を総合的にサポートした。	みどり自然課

◆山形県環境教育行動計画に基づく施策の実施状況について [平成26年度事業内容]

24	県立自然博物館管理運営事業	・優れた自然に親しみながら、「自然のしくみ」や「自然と人間のかかわり合い」等について理解を深めるとともに自然に親しむマナーを身につけてもらい豊かな人間性の育成と自然保護思想の普及啓発を図る目的で設置された県立自然博物館の管理運営を指定管理者に委託した。 (平成26年度来園者数：10,787人)	みどり自然課
25		・やまがた環境展や県政広報等を通じて、生物多様性の保全の重要性等についての普及啓発を実施した。	みどり自然課

【1】学校、地域、社会等幅広い場における環境教育

③社会等幅広い場における環境教育の推進

No.	事業名	事業内容	担当課
26	社会貢献活動促進基金活用事業	・県民等からの寄付金等をやまがた社会貢献基金に積み立て、その基金を活用し、地域や社会の課題解決に取り組むNPOなどの社会貢献活動を支援した。	県民文化課
27	放課後子どもプラン推進事業 (市町村補助)	・放課後や週末等の子どもの居場所づくりを推進する市町村の「放課後子ども教室」において、希少動植物の観察会やエネルギーについて学ぶ科学教室等を開催した。 ・「自然体験」実施 66/107教室	文化財・生涯学習課
28		・「親子博物館教室（3回76名）」「植物観察会（5回104名）」「ミクロの世界入門講座（6回178名）」等多彩な講座等を開催した。	文化財・生涯学習課
29		・少年自然の家の利用者に対し、ニーズに応じた自然体験活動体験プログラムの提供を行った。平成26年度利用者99,714名（5施設合計）	文化財・生涯学習課
30	伝統芸能育成事業 (子ども伝承活動ふるさと塾)	・ふるさと塾賛同団体の内、18団体取材し活動を紹介。 ・県内24の団体を対象に指導者研修会を行い、各団体の継承活動を活性化した。 ・「民俗芸能のつどい」を開催し、県内13団体が演じるとともに、多くの県民に観ていただく機会を提供した。	文化財・生涯学習課
31	やまがた・ふくしま少年少女交流事業	・山形の小中学生・福島の小中学生・運営ボランティアの高校生・大学生が参加し、飛島の散策・飛島の自然と文化に関する講義・島料理の野外炊飯・海岸清掃ボランティアを実施した。	文化財・生涯学習課
32	未来の科学人材育成事業	・公民館等で主催する科学教室にサイエンス・ナビゲーターを派遣（49教室に86名派遣、4,563名参加）。 ・科学教育関係機関の連携会議を開催（24機関参加）・「青少年のための科学の祭典in山形」を開催（4,897名参加）	工業戦略技術振興課

◆山形県環境教育行動計画に基づく施策の実施状況について [平成26年度事業内容]

【1】学校、地域、社会等幅広い場における環境教育

③社会等幅広い場における環境教育の推進

No.	事業名	事業内容	担当課
33	やまがた的グリーンツーリズム推進事業 グリーン・ツーリズム情報発信推進人材 育成事業 教育旅行推進事業	・山形県グリーンツーリズム推進協議会を通じ、受入体制整備など観光誘客促進等の事業を展開し、本県におけるグリーンツーリズムを推進した。 ・平成27年度に本県で開催される全国グリーンツーリズム大会に向け、準備及び受入体制の整備を行った。 ・山形県の特徴ある教育旅行を推進するため、山形県教育旅行誘致委員会と連携しながら、教育旅行の誘致を行った。	観光交流課
34	子ども農山漁村交流プロジェクト推進事業	・小学校が行う農山漁村での長期宿泊体験活動の県内受入を促進するため、市町村ごとの組織化（受入地域協議会）の促進、各協議会の受入体制整備への支援、教育旅行の誘致活動を行った。	
35	多面的機能支払交付金 〔農地維持＋資源向上（共同）〕	・旧農地・水・保安全管理支払交付金に引き続き、平成26年度から新規制度として、農業の持続的発展と、農業・農村の多面的機能の発揮に向け、農地や水などの地域資源を農業者だけでなく地域共同で保全する主体的な地域づくりに対する支援を行った。 (平成26年度 活動組織802)	農村計画課
36	ゆとりとうるおい空間創造支援事業	・土地改良事業の実施にあたって、環境との調和に配慮した事業執行を図るため、様々な分野の専門家から指導助言を得ながら、環境配慮計画の策定を支援した。	
37	食農教育活動支援事業	・「食」に関して豊富な識見を有するとともに、農林業及び農産漁村に関する専門的な知識と経験を併せもつ人材を派遣する拠点を設け、要請に基づく講師派遣、指導、助言、相談を通して、子ども達等への農と食への理解を促進した。	6次産業推進課
38		・県内4箇所の浄化センターにおいて、夏休み親子下水道教室（参加者：136名）、浄化センター施設見学（参加者：1,181名）及び下水道出前教室（参加者：69名）を開催した。	下水道課
39	ふるさとの川アダプト事業	・河川や海岸を対象に「里親」として環境保全と清掃美化活動を行う団体を支援する「ふるさとの川アダプト事業」では、着実に参加団体は増加しており、平成26年度は497団体・191企業の活動を支援した。	河川課
40	マイロードサポート事業	・県管理道路の美化や歩道の除雪等を主体的に行う団体(469団体)に対し、活動費の助成や表示板の設置を通じた支援を実施した。	道路整備課
41	港湾施設管理運営費	・リサイクルポートに指定されている酒田港の見学会や海洋センターへの展示等を通じ、循環型社会について学習できる機会を提供した。	空港港湾課

◆山形県環境教育行動計画に基づく施策の実施状況について〔平成26年度事業内容〕

42	第11回村山地区環境ミーティング (村山地域地球温暖化対策協議会)	「川のゴミから考える海のゴミと木くずのリサイクル」をテーマに第11回村山地区環境ミーティングを開催した。寒河江市立寒河江中部小学校学童クラブ4年生以上27名が参加し、河川ごみの発生の様子の見学、木くずのリサイクル施設の見学、河川ごみの回収等現地活動等を行った。	村山総合支庁 環境課
43	村山版森のようちえん拡大支援事業	・自然体験により子どもの健やかな成長を期待するとともに、森林等の自然に親しんでもらうため、2つの中核施設(上山あい保育園・寒河江第二幼稚園)による自主森のようちえん活動を試行したほか、各幼稚園の取組み事例を発表することで事業成果を普及・啓発する活動発表闘先を開催した。さらに、森の幼稚園検討委員会を4回開催し、事業成果の検証と今後の進め方の検討を行った。	村山総合支庁 森林整備課
44	最上の自然環境教育マスター養成事業	・自然環境教育マスターの養成講座を開催し、春の講座(5/17~5/18)受講者4名に修了証交付、秋の講座(11/8~9)受講者9名に修了証を交付した。受講者や講師間の活発な意見交換により、自然環境教育に関するネットワークが広がるとともに、多様化する自然環境教育活動に対応できる指導者を養成することができた。	最上総合支庁 森林整備課
45	置賜地域地球温暖化対策協議会普及啓発事業 (置賜地域地球温暖化対策協議会)	・南陽市沖郷公民館で「ソーラーカーづくり教室・環境講座」を開催。置賜地域の親子22名が参加し、地球温暖化について学習した。	置賜総合支庁 環境課
46	おきたま森林・自然環境学習推進事業	・森林整備体験フィールドの整備(面積測量、地拵え) ・森づくり活動に必要な道具の整備(下刈り鎌など) ・新たな客体に対応したインタープリター養成研修体制の確立	置賜総合支庁 森林整備課
47	出羽庄内公益の森づくり事業	・庄内の海岸砂丘林を多様な主体の協働により保全し、将来に引き継ぐことを目的とし、森林ボランティア団体との意見交換、森林ボランティア活動の支援、森林環境教育の支援などに継続して取り組んだ。ボランティア活動・環境教育等への支援回数68回	庄内総合支庁 森林整備課

【1】学校、地域、社会等幅広い場における環境教育

④人材の育成・活用

No.	事業名	事業内容	担当課
48	地球温暖化対策推進体制整備事業 環境教育推進事業	・地域における温暖化対策の普及啓発のため地球温暖化防止活動推進員を養成した。(H26年度末累計912名)	環境企画課
49	(環境省事業【地域での地球温暖化防止活動基盤形成事業】及び社会貢献活動促進基金活用)	・地球温暖化防止活動推進員のフォローアップ研修、環境マイスター新規養成研修やフォローアップ研修において講師を務めるなど人材育成を図った。	環境企画課
—	【No.2再掲】 環境教育推進事業 環境エネルギー学習機能拡充推進事業	・学校、住民団体等で開催する学習会へ、環境アドバイザーを29回、地球温暖化防止活動推進員を16回、再生可能エネルギー地域コーディネーターを22回派遣した。 ・また、環境科学研究センター職員が講師となる環境教室を51回行ったほか、学校教員など教育関係者に向け環境教育教材活用研修会を開催した。	環境企画課 環境科学研究センター 各総合支庁環境課
50	環境教育推進事業	・環境地域づくり担い手連携推進セミナーを2回開催した。併せて、環境学習支援団体交流会を1回開催し交流を図った。	環境企画課 環境科学研究センター

◆山形県環境教育行動計画に基づく施策の実施状況について〔平成26年度事業内容〕

—	【No.13再掲】 環境教育推進事業	・学校教員など教育関係者に向け、センター職員が講師となり環境教室や環境教育教材活用研修会を6回開催した。 ・また、全市町村教育委員会及び小中学校62校を訪問し、環境科学研究センター学習機能や制度を紹介、環境科学研究センターの周知を図り、活用を促した。	環境科学研究センター
51	やまがた絆の森プロジェクト推進事業	・やまがた絆の森づくり活動に大学コンソーシアムやまがた主催の「社会人育成山形講座」のカリキュラムとして6名の大学生を受け入れた。社会人との共同作業によるコミュニケーションなどの育成と合わせた環境保全活動を行った。	みどり自然課
52	森づくりサポート体制推進事業	・やまがた公益の森づくり支援センターにて、森づくりの指導者となりうる地域の人材を発掘し、同センターが運用する人材バンクへ登録することで、円滑な人材活用を図る。	みどり自然課
53	森づくりサポート体制推進事業 やまがた絆の森プロジェクト推進事業	・やまがた公益の森づくり支援センターにて、森づくり活動に取り組む森林ボランティア団体や企業に対し指導者を派遣し、活動支援を行った。 ・やまがた公益の森づくり支援センターと連携し、森づくり活動に関する情報の収集や提供、森づくりボランティアへの支援を行うなど、森づくり活動を総合的にサポートした。 ・やまがた絆の森セミナー&報告会を実施し、森づくり活動に取り組む企業間で情報・意見交換を行った。	みどり自然課

⑤プログラムの整備、⑥情報提供

No.	事業名	事業内容	担当課
54	環境教育推進事業 環境エネルギー学習機能拡充推進事業	・県のHP、ブログ・ツイッターを活用し、情報発信を行った。	環境企画課 環境科学研究センター
—	【No.3再掲】 環境教育推進事業	・再生可能エネルギーに関する学習教材（読本、DVD）について、環境科学研究センター見学者ややまがた環境展・各種研修会参加者に配付するとともに、エネルギーをテーマとする出前講座において活用した。	環境企画課 環境科学研究センター
—	【No.6再掲】 自然環境学習推進事業	・教職員やPTA等を対象に学校林の安全な学習環境の整備と森林環境学習を内容とする研修を実施するとともに森林環境学習副教材「やまがたの森林」及びガイドブックを作成・提供した。	みどり自然課

⑦各主体の連携等

No.	事業名	事業内容	担当課
—	【No.50再掲】 環境教育推進事業	・環境地域づくり担い手連携推進セミナーを2回開催した。併せて、環境学習支援団体交流会を1回開催し交流を図った。	環境企画課 環境科学研究センター
55	やまがた緑県民会議	・県民各層の代表者で構成する「やまがた緑県民会議」を4回開催し、事業に対する評価、効果の検証、施策の提案等を行った。	みどり自然課

◆山形県環境教育行動計画に基づく施策の実施状況について [平成26年度事業内容]

56	循環型社会形成推進事業	・ごみゼロやまがた推進県民会議総会を開催し、ごみゼロやまがた推進プランの進捗管理や県民運動の実施方針案等に関して意見交換を行った。また、県民部会・産業部会を開催した。	循環型社会推進課
----	-------------	-------------------------------------------------------------------------------------	----------

【2】職場における環境保全活動、環境保全の意欲増進及び環境教育並びに協働の取組み

No.	事業名	事業内容	担当課
57	山形エコアクション21認証取得の促進	・認証取得拡大アクションプランに基づき、県内NPOと連携し、山形市における認証取得支援プログラムや認証取得事業所交流会への支援など、支援広報活動を実施した。	環境企画課
58	エネルギー使用合理化推進事業	・実地確認や省エネ研修会の開催等により、県関係施設における省エネの普及啓発・推進に努めた。	環境企画課
59	(山形県環境保全協議会協働事業)	・山形県環境保全推進賞知事賞1社、山形県環境保全推進賞3社、山形県環境保全推進賞選考委員特別賞2社を表彰し、県民に周知することで、環境保全への意識の高揚を図るとともに、環境保全活動の普及啓発を促進した。	環境企画課
60	(山形県環境保全協議会協働事業)	・山形県環境保全協議会と協働し、地球温暖化防止に関する講演会やCO2削減推進セミナーを開催するとともに、環境保全や省エネ活動の事例発表会を行い、事業者等の情報共有を行った。	環境企画課
61	森の健康診断等新ビジネス創出事業	・やまがた公益の森づくり支援センターで新たに3名を雇用し、企業等が行う森づくり活動の二酸化炭素吸収効果を数値化、森の健康診断等の活動を通して、新たな環境モデルの検討を行った。	みどり自然課
62	やまがた絆の森プロジェクト推進事業	・やまがた絆の森セミナー&報告会を実施し、森づくり活動に取り組む企業間で情報・意見交換を行った。	みどり自然課

【3】拠点機能整備

No.	事業名	事業内容	担当課
—	【No.2再掲】 環境教育推進事業 環境エネルギー学習機能拡充推進事業	・環境科学研究センター環境情報棟に専用窓口を設置し、再生可能エネルギーも含めた環境に関する相談対応や情報提供、図書等の資料貸出を行った。 ・学校、住民団体等で開催する学習会へ、環境アドバイザーを29回、地球温暖化防止活動推進員を16回、再生可能エネルギー地域コーディネーターを22回派遣した。また、環境科学研究センター職員が講師となる環境教室を51回行った。	環境企画課 環境科学研究センター
—	【No.3再掲】 環境教育推進事業 環境エネルギー学習機能拡充推進事業	・再生可能エネルギーに関する学習教材（読本、DVD）について、環境科学研究センター見学者ややまがた環境展・各種研修会参加者に配付するとともに、エネルギーをテーマとする出前講座において活用した。	環境企画課 環境科学研究センター

◆山形県環境教育行動計画に基づく施策の実施状況について [平成26年度事業内容]

—	【No.24再掲】 県立自然博物館管理運営事業	・優れた自然に親しみながら、「自然のしくみ」や「自然と人間のかかわり合い」等について理解を深めるとともに自然に親しむマナーを身につけてもらい豊かな人間性の育成と自然保護思想の普及啓発を図る目的で設置された県立自然博物館の管理運営を指定管理者に委託した。(平成26年度来園者数：10,787人)	みどり自然課
63	自然環境学習推進事業 学校林環境学習指導者研修	・教職員や学校活動をサポートするPTA等を対象に学校林の安全な学習環境の整備と森林環境学習を内容とする研修を行った。(鮭川村立鮭川小4回、村山市立富本小4回)	森林研究研修センター
64	カリキュラムサポートプラザ	・電話サポート・資料提供サポートとして、各学校からの電話やメールでの問い合わせや質問、相談に対応した。また、環境教育関連の図書資料を充実させ、図書の閲覧、コピー、貸出を行った。	教育センター

【4】体験の機会の場の認定

No.	事業名	事業内容	担当課
65	環境教育推進事業	・32団体の山形県環境学習支援団体を認定。対象団体の増加を図るとともに、HP等により情報提供を行い活用促進を図った。	環境企画課

【5】情報の積極的公表

No.	事業名	事業内容	担当課
—	【No.54再掲】 環境教育推進事業 環境エネルギー学習機能拡充推進事業	・県のHP、ブログ・ツイッターを活用し、情報発信を行った。	環境企画課
—	【No.64再掲】 カリキュラムサポートプラザ	・電話サポート・資料提供サポートとして、各学校からの電話やメールでの問い合わせや質問、相談に対応した。また、環境教育関連の図書資料を充実させ、図書の閲覧、コピー、貸出を行った。	教育センター
—	【No.11再掲】 山形県環境教育指針の改訂・普及	・小学校高学年における理科や総合的な学習の時間に実施できる再生可能エネルギーに関する学習プログラムの開発を行い、山形県環境教育指針とともに教育センターのWebページに公開した。	教育センター

【6】国際的な視点での取組

No.	事業名	事業内容	担当課
66	環境教育推進事業	・環境地域づくり担い手連携推進セミナーにおいて、「ESDに関するユネスコ世界会議とこれからのESDの展開について」をテーマにしたセミナーを開催した。	環境企画課 環境科学研究センター